

令和元年度 牡鹿半島周辺・以北_貝毒原因プランクトン出現状況 (NO. 3)

令和元年 7月 5日
水産技術総合センター

1 調査月日 令和元年 7月 1日

2 調査地点 右図の4定点

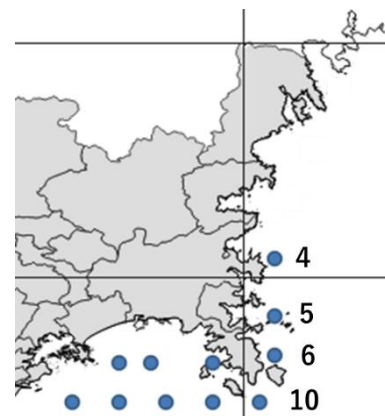
3 概要 (詳細は下表のとおり)

1) 水温: 表層で 16.4~17.4℃の範囲にあった。

2) 貝毒原因プランクトン出現数

・麻痺性貝毒原因プランクトン (*Alexandrium* spp.) は、確認されませんでした。

・下痢性貝毒原因プランクトン (*Dinophysis acuminata*) は、0~20 細胞数/L、*D. fortii* は 80~230 細胞数/L 確認されました。



調査地点図

調査結果表 (4 定点)

St.	時間 水深 (m)	測定層 (m)	透明度 (m)	水温 (℃)	塩分	貝毒プランクトン出現数(細胞数/L)							
						<i>Alexandrium</i> spp.		<i>D. fortii</i>		<i>D. acuminata</i>		他 <i>Dinophysis</i> 属	
						7月1日	6月3日~4日	7月1日	6月3日~4日	7月1日	6月3日~4日		
4	12:55 84.0	0	4.0	16.8	33.2	0	20	170	20	0	60	0	
		10		15.6									33.6
		20		14.4									33.6
		30		13.7									33.7
5	12:07 31.0	0	3.0	17.4	32.9	0	10	230	220	20	130	10	
		10		15.7									33.6
		20		14.0									33.6
		30		13.2									33.7
6	11:32 66.0	0	3.0	17.0	32.9	0	20	230	860	0	590	0	
		10		15.6									33.4
		20		14.6									33.6
		30		13.5									33.6
10	10:50 83.0	0	5.0	16.4	32.8	0	10	80	890	0	3,030	0	
		10		17.9									33.3
		20		15.5									33.5
		30		14.1									33.5
		40		13.1	33.7								

※貝毒プランクトンサンプルは0~20m層における柱状採水